

東北地方 1か月予報

(9月8日から10月7日までの天候見通し)

平成24年9月7日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。また、期間のはじめは少雨の状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

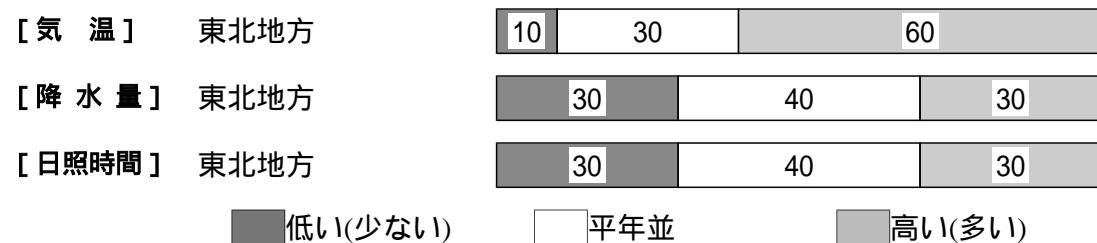
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

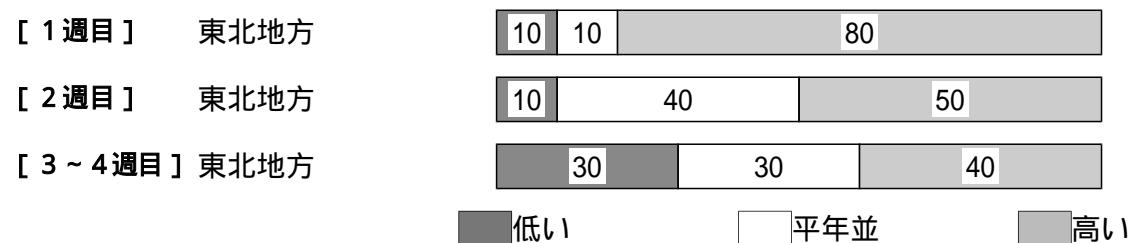
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月 8日(土) ~ 10月 7日(日)
1週目 : 9月 8日(土) ~ 9月 14日(金)
2週目 : 9月 15日(土) ~ 9月 21日(金)
3~4週目 : 9月 22日(土) ~ 10月 5日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月14日

3か月予報:9月25日(火) 14時

寒候期予報:9月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3～4週目
青森	17.9	121.1	156.1	20.2	18.8	16.7
深浦	17.8	160.8	148.2	20.0	18.7	16.7
むつ	17.0	165.8	148.1	19.1	17.8	15.9
八戸	17.6	157.2	145.5	19.8	18.5	16.5
秋田	18.9	160.9	149.9	21.3	19.9	17.6
盛岡	17.2	148.9	126.3	19.7	18.2	15.8
大船渡	18.2	202.9	118.0	20.4	19.1	17.1
宮古	17.5	218.9	130.4	19.6	18.3	16.4
仙台	19.4	190.4	121.4	21.5	20.2	18.3
石巻	18.9	153.0	132.4	21.0	19.7	17.7
山形	18.6	123.9	124.9	21.2	19.6	17.2
新庄	17.9	147.2	113.7	20.5	18.9	16.5
酒田	19.7	165.2	146.5	22.0	20.6	18.5
福島	19.7	167.5	112.1	22.0	20.5	18.4
若松	18.8	135.1	123.9	21.4	19.8	17.4
白河	18.0	205.1	111.9	20.4	18.9	16.8
小名浜	20.4	200.7	133.4	22.4	21.1	19.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.2	82～113	93～107
東北日本海側	-0.4～+0.3	86～113	93～108
東北太平洋側	-0.4～+0.2	85～113	93～108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.7～+0.7	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.7～+0.7	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.6～+0.8	-0.8～+0.8	-0.5～+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成24年9月7日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月8日～10月7日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

なお、期間の前半は気温がかなり高くなるでしょう。また、期間のはじめは少雨の状態が続く見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

1週目(9月8日～9月14日)：

気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所がありますが、明日(8日)と期間の中頃は晴れる日があるでしょう。

気温は、高い確率80%です。

2週目(9月15日～9月21日)：

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、高い確率50%です。

3～4週目(9月22日～10月5日)：

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

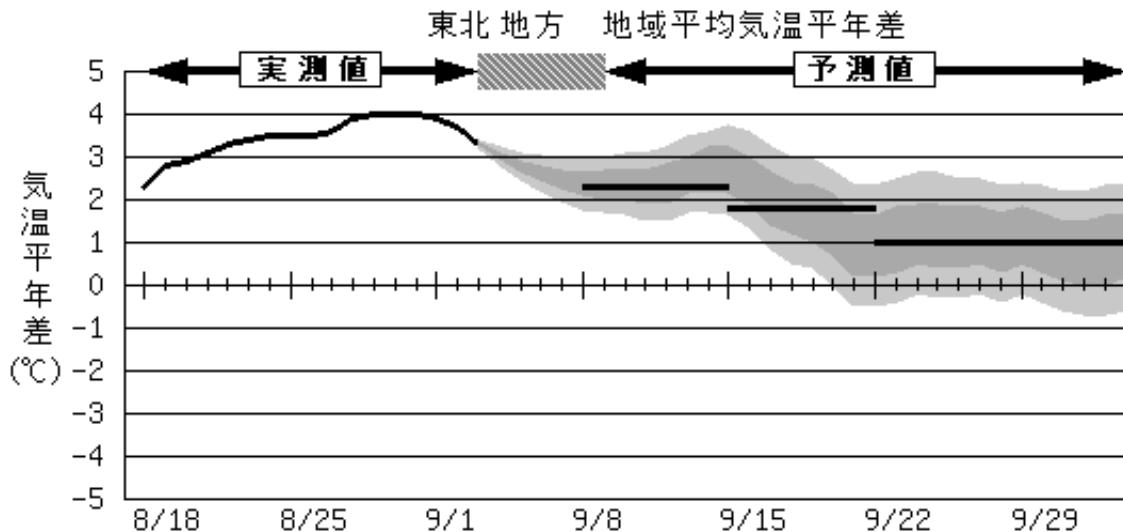
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水								
14.8	10.0	14.3	11.7	12.3	10.4	11.8	10.4	11.9	10.1	10.8	9.7

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を大きく上回り、3～4週目は平年を上回る予想となっている。



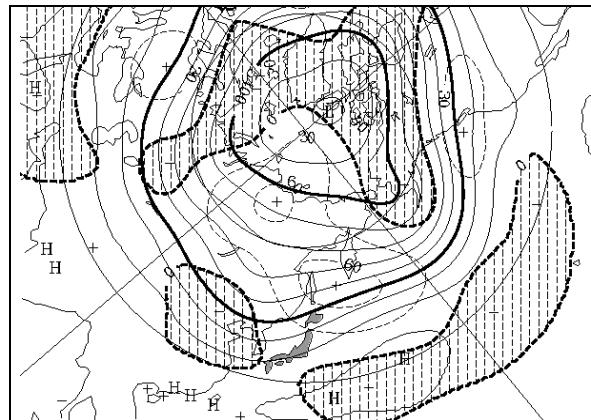
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:オホーツク海を中心に顕著な正偏差となり、日本付近は北ほど平年より暖かい空気におおわれる。偏西風は大陸東岸で南に偏って流れ、日本の西は気圧の谷となる。東北地方は、期間の前半を中心に、気温は平年を大幅に上回る見込み。低気圧と高気圧が交互に通り、天気が周期的に変わらようになるため、期間の中頃以降は次第に平年程度の雨が降るようになると見られる。

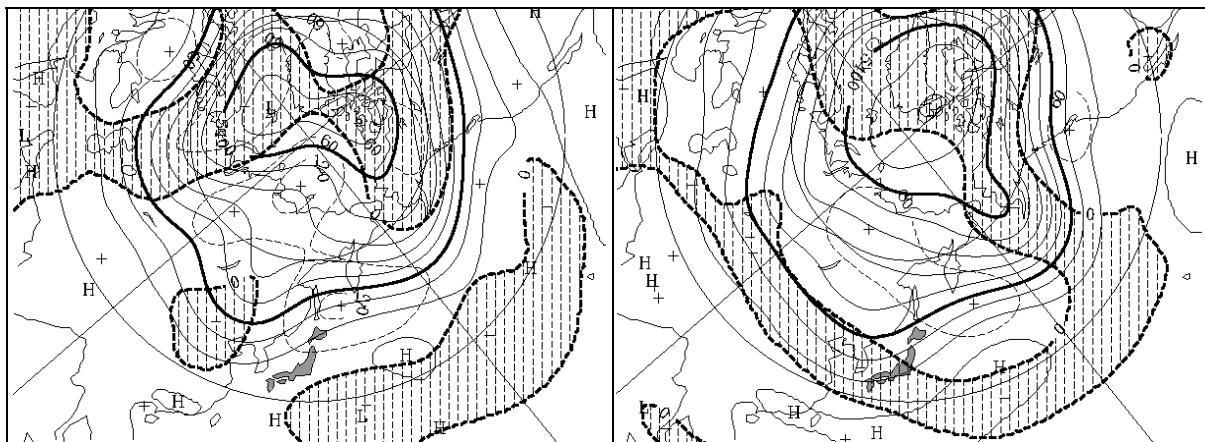
1週目：オホーツク海を中心に顕著な正偏差となり、暖かい空気におおわれる。日本の西に弱い気圧の谷があり、東北地方は湿った気流の影響で曇りの日が多いが、大陸からの移動性高気圧におおわれて晴れる日もある。気温は平年を大幅に上回る見込み。少雨状態を解消するまとまった雨が降る可能性は小さい。

2週目:北日本は正偏差となり、暖かい空気におおわれる。朝鮮半島付近が気圧の谷となり、東北地方は南からの湿った気流の影響を受けやすくなる。低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わり、平年並程度の降水量が見込まれる。気温は平年より高い見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1,2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

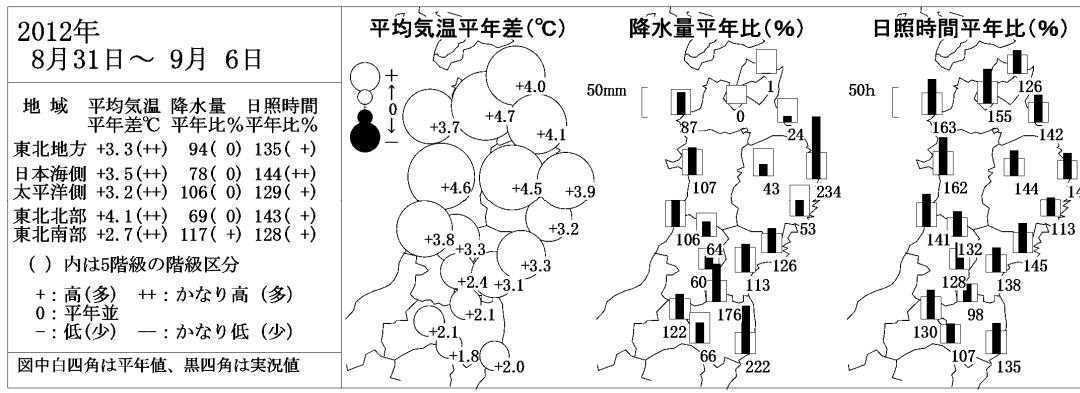
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近 1 週間（8月 31 日～9月 6 日）の天候の経過

この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温はかなり高かった。2日から6日にはかけては上空の寒気や湿った気流の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。

平均気温はかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）